

2023年度 小委員会活動成果報告

(2024年2月15日作成)

小委員会名	マルチハザードに対応可能な耐複合災害建築小委員会	主査名：久田嘉章 就任年月：2023年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会、環境工学委員会、建築計画委員会	委員長名： 五十田博、大岡龍三、清家剛
設置期間	2023年4月 ～ 2027年3月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>3委員会、および、都市計画・土木・地盤工学・火山噴火等の研究者と連携したマルチハザードに対応可能な耐複合災害建築に関する調査研究活動を推進する。</p> <p>初年度：委員の話題提供・課題整理、WG設置、大会学術講演会の新部門の設置提案など</p> <p>2年度：委員の話題提供・課題整理、シンポジウム開催、大会新部門の運営など</p> <p>3年度：課題・成果の整理、シンポジウム開催、大会新部門の運営など</p> <p>4年度：大会新部門の運営、最終成果報告会の開催、報告書の発行など</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：久田嘉章(工学院大学)</p> <p>幹事：小山毅(東京大学)、佃悠(東北大学)、伯耆原智世(早稲田大学)</p> <p>委員：秋元孝之(芝浦工業大学)、五十田博(京都大学)、岩佐明彦(法政大学)、大月敏雄(東京大学)、壁谷澤寿一(東京都立大学)、木内望(国土技術政策総合研究所)、久保智弘(山梨県富士山科学研究所)、清家剛(東京大学)、長谷川兼一(秋田県立大学)、増田幸宏(芝浦工業大学)、三浦弘之(広島大学)</p>	
設置WG (WG名：目的)	<p>耐複合災害建築普及WG：小委員会活動成果の普及・啓発を目的としたシンポジウム等を企画</p> <p>水害対策・復旧対応検討WG：浸水害建物の設計・復旧のための対応を検討</p>	
2023年度予算	370,000円 *3委員会合計	ホームページ公開の有無：無 委員会HPアドレス：

項目	自己評価
委員会開催数	1回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 分野横断の2つのWGを設置して情報共有と課題を整理し、大会学術講演会の新部門「99.耐複合災害(2024年度特別部門)」を設置提案するなど、目標をほぼ達成した。
委員会活動の問題点・課題	<p>1. 初めての3つの委員会による合同小委員会であり、計画や運営がやや複雑。</p> <p>2. 多様な分野から多くの委員が参加しており、全員参加できる機会が少ない。</p> <p>3. 次年度から開始するシンポジウムや大会新部門での発表、WGでの成果のとりまとめ、学会員や社会への公表法などの具体的な検討。</p>